

たすけあい通信



令和2年・冬号
通算96号

発行 認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク 078-843-4029/843-4446 (FAX)842-2907

阪神・淡路大震災と新型コロナウイルス

理事長 村山 メイ子

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早いご快復をお祈りいたします。

私たちは26年間で二つの大きな危機に直面しました。一つは26年前の「阪神・淡路大震災」です。助け合いネットは阪神・淡路大震災から2週間後に立ち上がり、これまで一貫して市民レベルの助け合い活動に取り組んできました。そして今年は新型コロナウイルスが広がり未曾有の危機にさらされた1年となりました。

これまでも活動に行き詰ったときは原点に戻ることで、団体のあるべき姿を見出してきました。果たしてコロナ禍に於いても原点に戻ることで、新しい助け合い社会の糸口が見えてくるのでしょうか。コロナは震災とは真逆の姿で日々私たちに迫っています。

以下は2つの出来事を重ねてみました。

阪神淡路大震災

新型コロナウイルス

- ・1995年1月17日発生、一瞬にしてガレキの街となり多くの人命を奪いました。全国から被災地にボランティアが集まりました。

- ・1995年2月2日助け合いネット発足。被災者の心のケアやニーズに対応しました。
- ・空き地にテントを張り被災体験や将来への不安を語り合い、励まし合う場所をつくりました（茶話やかテント）これが居場所の原点となりました。



- ・2020年1月頃、じわじわと感染が広がり、人体への被害が出ました。

- ・現在も新規感染者が増え続け、歯止めがかかりません。
- ・現在は手洗い、うがい、マスクなどの感染防止対策や3密（密接、密集、密閉）を避け、新しい生活様式に合わせた居場所に皆さんが集っています。



助け合いネットの視点から震災とコロナを比べると共通点は、「居場所」と「集い」です。人はどのような状況におかれても、人とつながり、悲しみを共有したり喜びを分かち合って、元気になれる居場所が必要です。コロナ禍ではリモートも広がっていますが、ご高齢の方は今更リモートと言われても限界があり、使いこなせる人は一部に留まります。社会の変化に合わせて活動の見直しをすることは活動の基本ですが、助け合いネットは今まで通り人が集い、対面で話ができる居場所を重視していきます。

これから本格的な寒さに向かいますが、居場所では窓を開けるなどの換気が必要です。体調の悪い方はしばらくご利用をお控えください。当分の間、皆様には不自由をおかけしますが、感染拡大防止に向け、ご理解とご協力をお願いします。

コロナ禍の三世代交流 第1回10月31日/第2回12月19日/第3回2月2日

じいじ、ばあばに手づくり弁当とあったか手紙を届けよう



4歳から小学6年生の子どもたちが書いた手紙や折り紙を紹介します



10月31日の行楽弁当

弁当づくりのボランティア

12月19日のクリスマス弁当

恒例の助け合いフェアーや餅つきのイベントも今年は中止のため、3世代交流もありません。週5回の「ふれあい昼食会」も再開の目途が立ちません。そこで昼食を楽しみに集っていた高齢者に手作り弁当を届ける企画をしました。子どもたちが書いた手紙や折り紙を添えて毎回40食のお弁当をお届けしています。



子どもがサンタになって家までお届けしました

※この活動はひょうご・みんなで支え合い基金をいただき実施しています

子ども食堂 コロナ禍の弁当配布&お好み焼きパーティ

お弁当希望者募集中(無料)

毎月第2、第4金曜日午後4時30分～6時まで子ども食堂を開いていました。コロナ禍のより以前のように集って食べる子ども食堂が開けません。そこで今までと同じ日時に市販のお弁当を配布しています。フードバンク関西などから頂くドリンクやスープをお付けするときもあります。

お好み焼きパーティ参加者募集(無料・時期未定)

- ◇9月21日、コロナ感染者が落ち着いてきたのを見計らって「お好み焼きパーティ」を開きました。
- ◇11月23日はたこ焼きパーティを企画していましたが感染者拡大のため急遽中止しました。
- ◇コロナの感染者数が納まり次第再開します。日程が決まれば、子どもカルチャーご利用の保護者様にラインで募集情報を流します。



※この活動はむすびえ・子ども食基金をいただき実施しています



わいわい広場利用の子どもたちへ



御影小学校の先生から当法人をご推薦いただき2020年11月、神戸市教職員組合様より社会貢献事業の一環として、児童福祉推進助成金を頂きました。

助成金で子どもの知識と読む力・集

中力を育てる目的で**世界の歴史シリーズ20巻、鳥図鑑、地球・宇宙探検**を購入させていただき、わいわい広場の図書を充実させました。また授業で使うホワイトボード等も買い替えることができました。

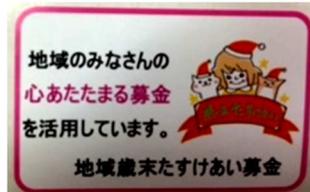
神戸市教職員組合とは、神戸市立の小・中・義務教育・特別支援学校（254校）の職場に分会を持つ組織です。
神戸市の教職員のほとんどが加入しています。※HPから抜粋



みなさんぜひご活用くださいね。一週間、好きな本の貸出もできますよ。

コロナ禍の歳末たすけあい募金

この募金は長年に亘り、東灘区連合婦人会が中心になって、地域の皆さんからお金を集めて下さっています。そのおかげで当法人は、火曜サロン・木曜サロン・土曜サロンやひまわり畑に配分金を頂いています。



配分金で行うクリスマスパーティーと餅つき大会は恒例となっていました。今年も餅つき大会は中止にしました。

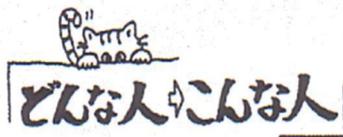


火曜サロンの皆さんは壁面をツリーで飾って小さなクリスマス会を楽しみにしています。

各サロンでは曜日ごとに分かれて輪投げ大会を開催します。土曜サロンでは毎週、輪投げの練習で腕に磨きをかけています。



また毎年配分金の一部を子どもカルチャーのクリスマスプレゼントに充てています。今年は高齢者から手作りの**鬼滅の刃のプラバン**、**手紙**や**サンタの折り紙**などもプレゼントに付けてコロナ禍の非接触交流を楽しんでいます。



木原 勝さん 76歳

趣味はマージャン1本！コロナ感染防止対策も完璧
ギャンブルのイメージはもう古い！フレイル予防の効果も注目される脳トレ健康マージャンのリーダー木原さんに脳トレマージャンに懸ける思いについてお伺いしました。

Q:マージャンを始めたきっかけは

A:17歳の時、友達のお兄さんからマージャンの本を借りたのがきっかけです。おかげで基礎から学んで深く極めることができました。



Q:マージャン歴はどれくらい？

A:17歳から57歳までは一般的なマージャンです。57歳で脳梗塞を患いブランクがあります。59歳から現在までは脳トレマージャンになりました。

Q:なぜ脳トレマージャンに移行したのですか？

A:59歳で定年になりましたが会社人間だったので地域との接点がありませんでした。そこで六甲のカルチャー教室で脳トレマージャンを習いました。そこで仲間ができたのがきっかけで楽しくなりました。

Q:週4回の教室で気を付けていることは？

A:テーブルとマージャンパイ除菌の徹底です。座りばなしになるので、合間に立ち上り深呼吸して体を動かしています。また理不尽な行動をとる人には徹底して注意しています。

Q:どんな時にやりがいを感じますか？

A:皆さんが脳トレマージャンを嬉しそうに楽しそうにしている姿を見る時です。

上海通信No.4 **上海でも皆さんを思い出しています** スタッフ 井上綾子さん

皆さんお元気ですか？スタッフの井上です。
上海市は現時点でのコロナ新規感染者はゼロ、厳しい防疫政策は奏功しています。家族が市外へ出ると子どもが2週間登校できないため、わたしはもっぱら市内を歩き回っています。

上海には前世紀初頭に建てられ老朽化した集合住宅が残っており、高齢者が暮らしています。風呂トイレ台所が室内にない家も珍しくなく、下町を歩くと玄関先で野菜を洗い料理をする主婦を見かけます。



高齢者の居場所は屋外です。ダンスはもちろん、道端で麻雀をする人たち、冬も川で泳ぐおじさんたちなど見かけます。週末の公園には活気ある歌声喫茶が出現し、百人以上が輪になって歌っています。その脇では近隣の苦情で設置された騒音計が、でかでかと70デシベルを示しているのですが、みんな構わず楽しそうです。

そんな輪の中に、皆さんに似た人を見つけては、恋しく思い出しています。この1年、何もかも変わってしまいましたが、互いに助け合い、人生を楽しむ皆さんの心は変わらないと信じています。2月末には神戸に帰ります。もうすぐ元気でお会いしましょう！

こども利用者募集中

心ばかりの支援

子どもカルチャー月謝無料
習字・そろばん・英語

対象：コロナ禍により収入減少等の影響を受けた世帯の小学生
※新規の受付も可能です



「子ども未来募金」の寄付金とリサイクル店の売り上げ収入から支援させていただきます

資金面で活動をお支え下さい

- ◆私たちは住民参加型の助け合い活動を通じて誰もが自分らしく暮らせるまちづくりをめざしています。活動の趣旨にご賛同いただき、利用会員やご家族様も資金面でのご支援をお願いします。
- ◆事務局に直接ご持参下さい。又は郵便局から下記にお振込みをお願いします。

●正会員	個人	年間5,000円
●賛助会員	個人	年間3,000円
●賛助会員	団体	年間10,000円
●子ども未来寄付	ご寄付は1000円以上をお願いします	
●助け合い寄付		
◆振込先	郵便局	
◆振替口座	01140-9-88648	
◆名称	東灘地域助け合いネットワーク	

【正会員】

組織の意思決定の権限(議決権)を持つ会員です

【賛助会員】

資金面で支援していただく会員です

【子ども未来寄付】

「わいわい広場」「子ども食堂」等の充実に使います

【助け合い寄付】

家賃の一部や環境整備等の一部に充当します

【税制優遇について】

当法人は神戸市から認定NPO法人として認証されています。3,000円以上のご寄付で税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくはHPをご覧ください。

【お詫び】 令和元年度 寄付者追加

以下11名様、6月号通信に掲載できていません。大変申し訳ございませんでした。

濱田 京子	阪野 妙子	東山 昌宏	藤原 滋子
星川 享男	前田 安子	松原 伸幸	村上 勇夫
森原 隆雄	柳内 大輔	渡辺 絵里	

〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6-15-17
TEL：078-843-4029 FAX：078-842-2907
午前10時～午後6時(日・水・祝 休み)
(URL) <http://hnw.or.jp>
(Mail) info@hnw.or.jp
発行責任者：村山メイ子